

## 令和2年度事業報告書

## 実施事業等会計

## 【継続事業1】 鳥取県口腔総合保健センター運営事業

## (1) 障がい者歯科診療事業

会員協力医の輪番で、毎週木曜日の午後に診療を行った。また、鳥取県から委託を受け、障がい者施設における口腔機能調査研究事業として、グループホーム等（東部1施設、西部1施設）へ歯科医師及び歯科衛生士を派遣して口腔検診を実施した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	4	4	4	4	3	4
受診者数	39	42	51	57	44	54

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	5	3	4	4	3	4	46	3.8
受診者数	65	46	45	47	40	61	591	49.2

## (2) 口腔疾患予防処置及び歯科相談事業

会員の輪番制で、毎週火曜日の午後に、フッ化物塗布、初期う蝕（むし歯）の処置等の歯科疾患予防処置・保健指導及び各種相談の受付・助言を行った。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
診療日数	3	2	5	3	3	4
受診者数	1	2	1	2	13	3

※ 受診者数はのべ人数

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	月平均
診療日数	4	2	4	2	3	5	40	3.3
受診者数	4	0	4	5	4	5	44	3.6

## (3) 歯科健康診断事業

共済組合などから委託を受け、本会が健康診断実施契約を締結、会員に協力を依頼し、診断票による診査と結果に基づく保健指導を行った。

区 分	受託件数	受診者数
共済組合	1	55
事業所健保組合他	4	18
島根健保連	2	医院請求

**【継続事業 2】 歯科医学・医術の振興、歯科保健の推進及び普及啓発・コンクール並びに調査研究、適切な歯科医療管理の指導、歯科医療情報の提供を行い、公衆衛生の普及向上に資する事業**

**(1) 歯科医学・医術振興事業**

**① 鳥取県歯科医学会・鳥取県臨床歯科医学会・鳥取県歯科法医学会**

著名な臨床医を講師に迎え、時代に即した歯科医学をテーマに講義を受ける鳥取県歯科医学会（今年度は公益社団法人日本補綴歯科学会共催）、会員による症例報告・研究発表、意見交換を行う鳥取県臨床歯科医学会（10:00～10:45 演題：3題）を開催した。

**《 鳥取県歯科医学会 》**

日 時	令和2年12月13日（日）11:00～13:00
会 場	鳥取市吉方温泉3-751-5 鳥取県歯科医師会館+オンライン配信
第Ⅰ講演	演題 部分床義歯設計の基本と補綴前処置 講師 徳島大学歯学部歯学科機能維持系臨床歯学講座 口腔顎顔面補綴学 渡邊 恵氏
第Ⅱ講演	演題 おさえておきたい部分床義歯の修理のコツ（リラインを含む） 講師 岡山大学医歯薬学総合研究科咬合・有床義歯補綴学分野 准教授 原 哲也氏
参加者数	歯科医師48名 歯科衛生士等7名 その他3名 合計58名 (県歯10名 西部13名 オンライン35名)

**(2) 歯科保健活動助成事業**

県内の歯科保健推進のため、鳥取県歯科衛生士会及び鳥取県歯科技工士会に活動助成金としてそれぞれ20万円を交付した。

**(3) 歯科保健推進事業**

**① 県民歯科保健公開講座（鳥取県補助事業）**

より多くの県民の方に正しい歯科保健知識を普及するため、口腔衛生について分かりやすく説明する5分間のテレビ番組を制作し、放映した。

テ ー マ	高齢期の歯科保健指導
番組タイトル	高齢期の歯科保健講座
放 映	日本海ケーブルネットワーク10回 鳥取中央有線放送20回 中海テレビ放送13回

**② 鳥取県口腔衛生関係者研修会**

今年度開催中止

**③ 在宅医療推進研修会**

今年度開催中止

#### ④ 学校歯科保健推進事業

今年度開催中止

#### ⑤ 鳥取県からの受託事業

##### 〔むし歯予防フッ化物洗口事業〕

幼児期から学齢期のむし歯を予防するため、県内の施設等を対象として、フッ化物洗口法（うがい）を実施できる体制を整備した。今年度は保育園1園で実施するとともに、各自治体への出前説明やブクブク洗口推進レターの発行、体験実施などの普及啓発を行った。

##### 〔高齢者施設における口腔機能向上推進事業〕

歯科を受診する機会の少ない高齢者施設の入所者に対して口腔健康診断（東部1施設、西部1施設）及び健診後フォローを実施した。

##### 〔歯科医師認知症対応力向上研修事業〕

歯科医師等による口腔機能の管理を通じて、認知症の疑いのある人に早期に気づき、認知症の人の状況に応じた口腔機能の管理を適切に行うための研修会を開催した。

日時	令和3年1月24日（日）9：30～12：30
会場	米子市両三柳 104-1 鳥取県西部歯科医師会館＋オンライン配信
演題	認知症ケアに活かす行動療法
講師	鳥取大学医学部大学院医学系研究科臨床心理専攻 准教授 竹田伸也氏
参加者数	歯科医師69名 歯科衛生士20名 歯科助手等7名 合計96名 （会場20名 オンライン76名）

#### ⑥ 地域歯科医療連携室

##### 〔地域医療介護総合確保基金事業〕（鳥取県補助事業）

地域包括支援センター等の他機関と連携しながら、在宅歯科医療希望者への歯科診療所の照会、在宅歯科医療等に関する相談、在宅歯科医療を実施しようとする医療機関に機器の貸出を行う地域歯科医療連携室（本会及び地区歯科医師会）を運営した。

前年度に引き続き、連携室を広く周知するためのポスター・リーフレットを作成し、関係機関に配布するとともに、全国レベルの学会参加、各種講習会（口腔ケア関連、連携室関係職種レベルアップ研修会等）の開催、行政・多職種からの要望事項の協議や課題の検討を行った。

##### 〔訪問歯科衛生士養成支援事業〕（鳥取県補助事業）

通院が困難な在宅患者を訪問して口腔ケア指導等を行う訪問歯科衛生士を養成するため、歯科医院や介護施設等に勤務する歯科衛生士を対象に在宅歯科医療に関する研修会を開催した。

日時	令和2年11月21日（土）19：00～21：00
会場	米子市両三柳 104-1 鳥取県西部歯科医師会館＋オンライン配信
演題	高齢者に安全な口腔健康管理を提供するための知識と対応
講師	東京歯科大学水道橋病院 病院長 口腔病態外科学講座 教授 片倉 朗氏
参加者数	歯科医師27名 歯科衛生士52名 合計79名 （会場17名 オンライン62名）

〔医療介護連携のための多職種連携等研修事業〕（鳥取県補助事業）

介護予防は超高齢化社会において喫緊の課題であり、そのなかでもフレイル対策はその多面性やフレイルサイクルから多職種で取り組まなければ効果は期待できない。今年度はフレイル、オーラルフレイル研究・臨床において世界をリードする著名な講師3名による講演、加えて地域での取り組みを発表する研修会を開催した。

日 時	令和3年3月14日（日）9：20～16：00
会 場	米子市錦町1-139-3 米子市福祉保健総合センター ふれあいの里
内 容	<p>1) 超高齢社会におけるフレイルの意義を考える～医科歯科の重要性～ 国立長寿医療研究センター 理事長 荒井秀典氏</p> <p>2) 高齢期の口腔機能を支える視点：オーラルフレイル 東京都健康長寿医療センター研究所 歯科口腔外科部長・研究所研究部長 平野浩彦氏</p> <p>3) 鳥取県後期高齢者歯科健診におけるオーラルフレイルの現状と COVID-19 の医療への影響について 北海道大学大学院歯学部研究院口腔健康科学分野高齢者歯科学 准教授 渡邊 裕氏</p> <p>【地域からフレイル対策についての発表】</p> <p>1) 米子市の取り組みについて 米子市健康対策課 健康長寿担当 保健師 後藤恭子氏</p> <p>2) 境港市の取り組みについて 境港市長寿社会課 地域包括支援センター 保健師 本池美和氏</p> <p>【ディスカッション】 発表を受けて、講師からのコメント、アドバイス</p>
参加者数	<p>歯科医師23名 歯科衛生士等28名 医師・看護師・管理栄養士・薬剤師11名 ST・PT・OT7名 行政関係者10名 保健師・介護支援専門員20名 境港市フレイルサポーター9名 合計108名</p>

〔鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業・健口機能向上支援モデル事業〕

鳥取県後期高齢者医療広域連合から業務委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に歯科健康診査（問診・咀嚼機能評価・舌機能評価・嚥下機能評価・口腔内診査）を行った。

《 鳥取県後期高齢者医療歯科健診事業 》

後期高齢者の口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病を予防し、健康寿命の延伸を図るため、歯・歯肉、口腔清掃や口腔機能状態等をチェックする歯科健康診査を実施した。

受診期間	令和2年6月1日～令和3年1月31日
協力医院	東部63医院 中部28医院 西部62医院 合計153医院
受診者数	東部77名 中部83名 西部705名 合計865名

《 鳥取県後期高齢者医療健口機能向上支援モデル事業 》

市町村及び山陰言語聴覚士協会と連携し、市町村が指定する会場で集団歯科健康診査を行い、口腔健康に関する啓発や健診結果のフォローアップ教室等を実施した。

実施期間	令和2年6月1日～令和3年1月31日
実施状況	米子市7回67名 境港市1回14名 湯梨浜町3回18名 合計11回99名

#### (4) 歯科保健普及啓発事業

##### ① 歯と口の健康週間相談事業（鳥取県からの受託事業）

今年度開催中止

#### (5) 歯科保健コンクール事業

##### ① よい歯のコンクール事業

今年度開催中止

##### ② 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクール事業

学童期からの歯科保健意識の定着と、より一層の公衆衛生の機運醸成を図るため、県内の学校から公募し、公正な審査を実施、被表彰作品を決定・表彰した。その後、作品は、東・中・西部地区ごとに公共施設等に展示した。

なお、最優秀作品は、日本学校歯科医会・日本歯科医師会の主催する全国コンクールに応募した。

#### (6) 歯科医療管理事業

##### ① 医療管理講演会

会員及び医院スタッフ等を受講対象として、医療安全対策、危機管理対策、法的知識、接遇マナーなど受診しやすい診療所を目指すため、診療所運営全般に関する講演会を開催した。

日時	令和3年2月21日（日）10:00～11:00
開催形態	日本歯科医師会作成の施設基準に係る研修動画2本オンライン配信
内容	「感染予防対策」 日本歯科大学附属病院口腔外科 准教授 石垣佳希氏 「一般歯科診療所における医療安全」 東京歯科大学 教授 井上 孝氏 他
参加者数	会員84名（オンライン58名 県歯8名 西部18名）

##### ② 保険診療指導

診療所を受診される方々に適正な保険診療による安心・安全な歯科医療を提供するため、制度改正や届出様式、取扱要領等の最新情報を会員へ周知した。

##### ③ 歯科医療会員調査事業

今年度は実施していない。

#### (7) 歯科医療情報提供事業

県内の会員歯科医院マップ、歯と口の健康、休日歯科診療案内、イベント予定など、総合的な歯科医療情報を提供するホームページの運営を行った。併せて、本会の活動を内外に周知する広

報誌「鳥歯会報」を年6回発行し、会員及び関係機関に配布した。

**【継続事業3】 歯科衛生士養成所運営事業（鳥取県からの受託事業）**

鳥取県から、歯科衛生士としての必要な知識及び技能を習得させる3年制専門学校（鳥取県立歯科衛生専門学校／1年生23名、2年生23名、3年生20名）の運営委託を受け、本会の会館2階に併設されている県の校舎で、施設設備の保全及び生徒の授業に関する事務等を行った。

**【継続事業4】 歯科技工士養成所運営助成事業**

県内における歯科技工分野の人材育成を支援するため、県内に唯一設置されている鳥取歯科技工専門学校に対して、運営費の助成（350万円）を行った。

---

**その他会計**

**【その他の主要な事業以外の事業】**

**（1）会員の福利厚生事業**

**① 会員表彰披露・祝賀会**

今年度開催中止

**② 会員フェスティバル**

今年度開催中止

**③ 同好会助成事業**

会員の同好会活動の活性化を図るため、ゴルフ同好会に8万円の経費の助成を行った。

**（2）中国・四国地区歯科医師会連合会関連事業**

**《 中国地域歯科医師会 親睦野球大会 》**

各県協議の結果、今年度は開催しないことになった。

**（3）歯科衛生士就学資金給付事業**

地域歯科医療を担う歯科衛生士の確保を目的として、鳥取県立歯科衛生専門学校において歯科に関する専門知識を習得しようとする者で、県内に就業を希望する者に対して就学資金を給付した。

区 分	元年度	2年度
採用者数	0	1

---

法 人 会 計
---------

**【法人の管理業務】**

総会・理事会の開催、資産・負債の管理、事務局の運営など、法人の事業の管理を行った。